

## 事業計画書

事業名	「次世代へ繋げ！奥武蔵の森づくりプロジェクト」事業
種類	(1) SDGs 推進事業 ( 人間 豊かさ 地球 平和 パートナーシップ ) (2) 自立促進事業 ( 人間 豊かさ 地球 平和 パートナーシップ )
1. 事業の目的	<p>本事業は 28 年に渡り続けてきた特定非営利活動法人西川木楽会による、奥武蔵のユガテの森作り・地域作りの活動を次世代に繋げることを目的としている。</p> <p>近年、当会の主要メンバーの高齢化が進んでいる。長い活動期間を経て、今では「飯能の桃源郷」と称されている「ユガテの森」だが、現状のままではかつてのような活発な活動や、環境保全の取組みに限界が来てしまうことが予想されている。</p> <p>また当会のもうひとつの活動目的である、西川林業地の復興も若い担い手を早急に必要としている。</p> <p>そこで当会では、森林での様々な体験活動を通じた森林環境教育、森林整備への参加、健康づくりや生きがいの場としての森林の活用等、積極的に森林を利用しながら森林を守り育てていくことを実践することを「持続可能」にするためにも、本事業をその足がかりにしたいと考えている。</p> <p>森を守り育てることは、すなわち川の国埼玉の源流を守ることにも繋がり、我々埼玉県民の生活ばかりではなく、周辺海域への生態系保護、豊かな地球資源を守ることだと考えているが、早急に我々の活動を若い世代に継承しなければ、これまでの 28 年の活動が無駄になってしまう恐れがある。</p> <p>日本の里山に欠かせない森や川を含めた「身近な自然環境」を未来の子どもたちに残すために、活動の担い手を、若い世代に継承することを念頭にしたものが本事業である。</p> <p>埼玉県における森林・林業への理解を深め、豊かな森と人の環境を SDGs の目標に沿った持続可能な環境へと、再構築することを目的としている。</p>

2. 事業の内容	<p>具体的には、埼玉県西部、奥武蔵の豊かな自然環境を残すことを目的に、【豊かで暮らしやすい「新たな日常」を実現する緑の空間】を生み出すため、地域の里地（特に森林地域）などの身近な自然 環境の保全の持続可能な環境づくりを実践する。</p> <p>その啓蒙活動として、特に若年層を対象とした広報活動を行い、広い地域から、幅広い年齢層の「仲間」を増やすことを目的とする。</p> <p>(1) 【ホームページ・パンフレット制作】</p> <p>森づくりの担い手を次世代に繋げるため、また森林・林業に関する普及啓発に繋がる、新しいホームページやSNSの構築をはじめとする広報伝達の環境整備。</p> <p>具体的には、これまでのホームページの刷新と、新たにSNSの配信で、若年層に興味を持ってもらう。同時に若い世代に訴えるような新しいパンフレット制作など。そのために必要なノウハウは地元飯能で若い世代を対象に地域貢献事業を展開しているNPOにパートナーシップ協力をしてもらう。</p> <p>実施期間：7月～10月</p> <p>対象者：環境保全や森林などに興味のある全ての人々</p> <p>外部協力者：NPO 法人埼玉ハンノウ大学ほか</p> <p>(2) 【次世代・森づくりイベント】</p> <p>若年層を対象とした森づくりイベントの実施。若い林業家を講師に迎えて、「森を育てる・森をつくるということ」について学びながら、林業体験をする。</p> <p>活動日：2022年9月～2023年1月の間 1～2回実施</p> <p>活動場所：ユガテの森ほか</p> <p>活動人数：活動協力スタッフ 5名前後 地域内外の参加者15名/回</p> <p>(3) 【次世代の森づくりシンポジウム】</p> <p>活動を次世代へ繋げるための、若者による森づくりシンポジウムの実施。森林・林業関係の若手を招いて、これから奥武蔵の森林・林業について語り合い、未来を描く。</p> <p>実施日：2022年11月～2023年1月の間に1回開催</p> <p>会場：飯能市内およびZoom配信</p> <p>対象：本事業に興味を持つどなたでも</p>
----------	--

3. 実施計画	<p>(1) ホームページの刷新を中心とした若年層新規会員の獲得事業  (2) 次世代に活動を繋げるための新しい森林環境保全イベント・シンポジウムの取組み</p> <p>○スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="465 339 1310 729"> <thead> <tr> <th>時期</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td><td>プロジェクトチーム立ち上げ HP 制作開始</td></tr> <tr> <td>8月</td><td>体験イベント・シンポジウム準備開始</td></tr> <tr> <td>9月</td><td>HP・SNS による広報開始・パンフレット作成</td></tr> <tr> <td>10月</td><td>広報活動</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>森づくりイベント開催</td></tr> <tr> <td>12月</td><td>森づくりイベント開催</td></tr> <tr> <td>1月</td><td>シンポジウム開催・イベント報告会</td></tr> <tr> <td>2月</td><td>報告書作成</td></tr> </tbody> </table> <p>○広報計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントは市のエコツアーパンフレット及び市報等に掲載</li> <li>・ホームページ・SNS、A4 三つ折りパンフ 1000 部を制作。 主に公民館・市役所・図書館等に配布協力をお願いする。</li> <li>・またイベントやシンポジウムは協働する NPO 埼玉ハンノウ大学 HP・SNS などでも広報。</li> <li>・埼玉県が運営する「エスキューブ」アプリ等での広報も活用する。</li> </ul>	時期		7月	プロジェクトチーム立ち上げ HP 制作開始	8月	体験イベント・シンポジウム準備開始	9月	HP・SNS による広報開始・パンフレット作成	10月	広報活動	11月	森づくりイベント開催	12月	森づくりイベント開催	1月	シンポジウム開催・イベント報告会	2月	報告書作成
時期																			
7月	プロジェクトチーム立ち上げ HP 制作開始																		
8月	体験イベント・シンポジウム準備開始																		
9月	HP・SNS による広報開始・パンフレット作成																		
10月	広報活動																		
11月	森づくりイベント開催																		
12月	森づくりイベント開催																		
1月	シンポジウム開催・イベント報告会																		
2月	報告書作成																		
4. 実施体制	<p>○事業の実施について</p> <p>①総括責任者：和泉 由起夫 (NPO 法人西川木楽会 代表理事)  ②連絡責任者：佐藤 永治 (NPO 法人西川木楽会 副代表理事)  ③現場責任者：小林 慎吾 (NPO 法人西川木楽会 理事)  ④会計担当者：堤 良隆 (NPO 法人西川木楽会 理事 会計)  ⑤広報担当者：小野 まり (NPO 法人埼玉ハンノウ大学 学長)</p>																		
5. 事業の効果	<p>28年続く当会が、地域で自然保護教育などを展開している若い団体などと協働し事業を行なうことは、地域活動の継承として非常に効果があると考える。</p> <p>本事業を通じて、若い力を発掘し自立促進への事業体制を整えることによって、これまで当会が培ってきた地元西川材や林業の振興活動や、専門家による様々な知見を確実に次世代へ繋げていくことが出来ると考えられる。強いては埼玉県のみどりの自然を、持続可能なものとすることに繋がっていくと確信している。</p> <p>また、これまで弱かった情報発信力を、ホームページや SNS を多用することによって強化し、幅広い世代へ届けることで、若い世代の意見を取り入れやすくなる。そして、新しい環境保全イベントへの展開へと繋げていきたい。</p> <p>また、本事業をきっかけとして繋がった、団体や個人などとの協働を目指し、奥武蔵の森林を活用した自然環境教育にさらに力を入れていきたい。</p> <p>同時に奥武蔵地域の自然景観の魅力発信を観光振興に繋げ、地場産業の林業の復興や保全活動への関心を高める役割を担えるような基盤を、次世代と共に作る事業へと発展させたい。</p>																		

6. 今後どのように事業を継続し発展させるか ※自立促進事業のみ	
-------------------------------------	--

### 本事業で目指す SDGs の目標

